

オリーブ

オリーブ班について

生活支援員 渡部 強士

オリーブ班は、利用者数11名、職員数7名の高齢者のグループで、最年少55歳、最年長83歳、平均年齢69.3歳(平成28年1月1日現在)のとてもパワフルな活動班です。

オリーブ班のテーマは『潤いと意欲を持ってその人らしい活力のある生活を営んでいただく』ことです。そのために、心身の廃用症候群を防止し残存機能を活かして健康に暮らしていただけるよう努めています。

そんなオリーブ班では、安心・安全に気持ち良く入浴していただくためのゆっくり入浴や手指の動きを維持するための季節に応じた作品作りを行ったり、理学療法士協力のもと生活リハビリをおこなったり、季節を愛で感じることでできるレクリエーション等を行ったりしています。

感情豊かなオリーブ班は今後も元気いっぱい活動を行います。

グレープ

グレープ班について

生活支援員 岡本 知香

グレープ班は男性4名、女性4名、職員4名の12名で活動を行っています。活動内容はフィットネス・白杖歩行・点字・ADL支援・レクリエーションなどを行っており、その中で核となる活動は視覚障害を持っているハンディーを強みに白杖歩行を行い、みなさんその後のコーヒータイムを楽しみに参加していただいています。また点字を相手に気持ちを伝えるコミュニケーション手段として活用し、レクリエーションでは簡単調理や季節の飾り作りなどを行い、季節感を感じて頂きながら活動内容にメリハリのある楽しい生活が送れるよう支援を行っていきます。



フィットネス



調理



点字学習



白杖歩行訓練

クリスマス会

生活支援員

日高 武敏

12月22日(火)にエデンの園の一大行事であるクリスマス会が催されました。園内各所に華やかなクリスマスの装飾が施され、クリスマスムードをより引き立てていました。礼拝では、海老原牧師をお招きし厳かな雰囲気の中で行われました。

祝会では、昨年に引き続き、宮崎学園短期大学の学生さんによる演奏会、三名保育園の園児さんからは、コマ回しの発表や、ダンスや歌のプレゼントがあり、心温まる時間を持つことが出来ました。また、利用者出し物では、オリーブ班が中心となり「劇:大きなかぶ」を好演していただき、大きな笑いが挙がりました。また、サンタが登場すると、歓声も挙がって会場も盛り上がりました。

会食では、華やかなクリスマスプレートが準備され楽しい時間を過ごす事が出来ました。笑顔が多く見られ、楽しい思い出の一ページに刻まれたのではないかと思います。

